

一般質問発言通告書

発言順位 10番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年6月10日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 2番 沈 久美

質問事項1 令和の米騒動から考える地域の米作りと学校給食用地産米を地域で守る取り組み

具体的な内容 日本の主食であるお米にまつわる混乱—いわゆる米騒動は日本史の中で幾たびか発生してきました。米騒動とは庶民の生活と食料価格の不安定さが引き起こす社会的反応の総称とされています。現在起こっている令和の米騒動的な事態は、猛暑の影響、流通混乱、食料全般の価格高騰等が背景にあるとの分析も。しかしこれは単なる一時的な混乱ではなく、日本の農と食のあり方、そして自分たちの米食をいかに守っていくかという根本的な課題を突きつけられているとの見方もあります。毎年一定量確保すべき学校給食米を中心に、地域におけるお米の安定供給・持続的な生産を考えていく必要性に加え、米作り・米食という文化の学びにおいても、さらに意識して、地域で取り組む必要があると考えています。

1 現在の米騒動的な事態に対する認識と見解

2 学校給食における地元米継続供給のため、JA、学校給食会等との連携強化はどうか。

3 米作りを子どもたちに学ばせる機会はどうか。実践事例、今後の予定、効果について

質問事項2 発達に障がいや特性のある子ども支援における経過と方針

具体的な内容 平成30年に創設された本市の発達支援課は今年で8年目を迎え、専門性の高い支援体制を持つ部局として地域のニーズに応え続けてきたと認識しています。市民の間でもその存在は知られるようになり、保護者にとって心強い支えになってきたと感じています。今後の安定的な支援の方向性について、支援体制の見通し等、確認したいと考えています。

1 創設から7年が経過した中、対象児童生徒数や相談件数の推移を踏まえ、これまでの支援体制の成果や課題等をどのように総括しているか。

2 好評を得てきたスポレク事業内容について

3 今後の目標と方針について（民間事業所連携会議、5歳児健診、人材、予算）

質問事項3 地域の宝を未来へつなぐ—市内文化資源の再評価とシティプロモーション

具体的な内容 本市には自然と信仰、暮らしが密接に結びついた文化的資源が数多くあります。市指定の天然記念物（樹木など）のほか、文化財指定未満のお地蔵さん、祠、お堂、巨石など、人々の心の拠りどころや伝承の中で守られてきた民間信仰施設も少なくありません。

ただ、中には指定の有無に限らず、十分な調査や保全が行き届かず、荒廃が進む例も見受けられます。市民・住民にとって身近な存在であると同時に、観光客や映像制作者にとっては知られざる魅力としての価値を秘めていると考えます。地域資源を文化と観光の両側面から見直し、保全と活用の両立を目指すため、現状認識と今後の方針について伺います。

1 市指定の天然記念物に対する維持管理・保全体制の現状、修繕予算の確保はどうか。

2 市内に点在する祠やお堂など、文化財指定未満の民間信仰施設の実態把握状況、市が関わる可能性や調査支援の体制はどうか。

3 調査・整備された文化的景観をシティプロモーションに活かすルートについて